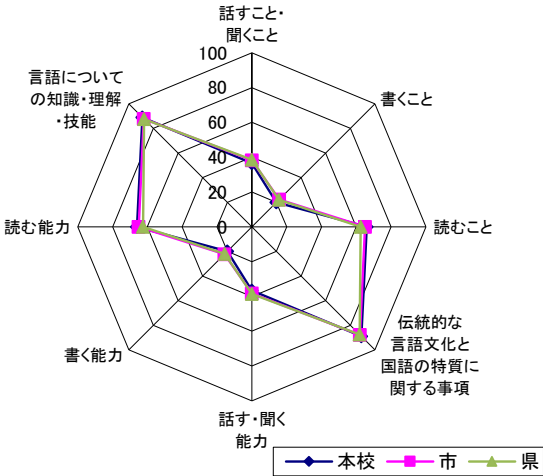


宇都宮市立富士見小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	36.5	38.3	38.5
	書くこと	19.8	22.3	21.9
	読むこと	66.0	65.0	62.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	88.9	87.8	87.5
観点	話す・聞く能力	36.5	38.3	38.5
	書く能力	19.8	22.3	21.9
	読む能力	66.0	65.0	62.5
	言語についての知識・理解・技能	88.9	87.8	87.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●本領域の平均正答率は36.5%であり、県の正答率を2.0ポイント下回った。また、「社会科見学のお礼の方法」について司会者の役割を理解して話し合いに参加する問題の正答率は1.8ポイント、共通点と相違点に気を付けながら聞く問題については2.8ポイント下回っている。	・話し合いの進め方や手順を児童が理解して、誰もが司会者を経験できるようにする。 ・メモなどを活用して共通点や相違点に視点を当て、話し合いを行う機会を設定する。
書くこと	●本領域の平均正答率は19.8%であり、県の正答率を2.1ポイント下回った。 ○メモの内容に新しい情報を加えてリーフレットに入れる問題では、ほぼ県の正答率と同等であった。 ●リーフレットのまとめを書く問題の正答率は13.3%であり、県の正答率を3.8ポイント下回った。	・本文から必要な内容を抜き出すだけでなく、あてはまる文章に変えたり、まとめたりする活動を取り入れていく。 ・他教科の学習において調べ学習などをする際、調べて分かったことから目的に応じた文章を書く経験をさせていく。
読むこと	○本領域の平均正答率は66.0%であり、県の正答率を3.5ポイント上回った。 ○文章の要点や細かい点に注意して読み、言葉を引用する問題では62.3%で、県の正答率を9.8ポイントと大きく上回っている。 ●登場人物の気持ちを理解する問題は88.7%で、県の正答率より1.5ポイント下回っている。	・説明文や物語文などの学習の際に、要点をまとめたり、小見出しを付けたりする学習を継続して丁寧に行う。 ・叙述に即して文章を読み進め、言葉の意味を理解したり、登場人物の関係をよく理解させたりしながら気持ちを読み取る指導を充実させていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○本領域の平均正答率は88.9%であり、県の正答率を1.4ポイント上回った。 ○漢字の書き「けんきゅう」の正答率は81.1%で、県の正答率を10.8ポイントと、大きく上回っている。 ●修飾と被修飾との関係の問題では、正答率が76.4%で、県の正答率より1.7ポイント下回っている。	・主語・述語・修飾語の意味やそれぞれの関係について繰り返し学習を行い、習熟を図る。 ・漢字辞典を身近に置いて活用する機会を設け、辞書の活用の仕方のさらなる定着を図る。